

発行：ひたちなか市の環境を良くする会
 会長 小川 和 昭
 編集：広報委員会
 監修：ひたちなか市環境保全課
 TEL：029-273-0111 (内3312)

環境から版

「より良い環境」を未来へつなげよう

「環境四季時計『冬祭り』環境シンポジウム2017」(主催：ひたちなか市の環境を良くする会、ひたちなか市)を平成29年2月11日(土)午後1時30分からワークショップで開催しました。

小川会長と本間市長の挨拶後、平成28年度「環境保全啓発ポスターコンクール」受賞者12名の表彰式を行い、次に左欄記載の環境活動の発表が行われました。

発表後、茨城大学原口弥生教授から「鮭の放流等実際に関わることや、早戸川の汚染原因を究明し

対策を実行すること、また沢田湧水地の保全のように15年も地道に継続すること、ITの活用等技术活用に新分野を開くこと、そして地域の人と協働することなどは大切なことです。自然を守り育て、さらに前進することを期待します。」と講評がありました。

アトラクションでは、茨城高専の佐藤稔教授による、力を加えずに風船を割る方法、液体窒素に入れたテニスボールを床に落とす実験など、様々な珍現象

「地域に残る貴重な自然の保護活動」継続して15年目に入った沢田湧水地の調査と保護。スカシユリの育成。また情報発信について発表しました。



市毛小学校

「地球を救おう ふるさと市毛を未来へ」早戸川のBOD測定による汚染度が県内1位であることを知り、原因究明と対策への取り組みを発表しました。(BOD:生物化学的酸素要求量)



中根小学校

「見つけよう 守ろう 中根の自然」中根ファームでのさつま芋の栽培、川に住む生物の調査、鮭の飼育や放流を通じて自然保護への取り組みを発表しました。



櫛日立製作所

「IT技術を活用した生態系保全活動 地域・教育機関とともに」ITと人の力で自然とのつながりをより深めることを目的とする活動を発表しました。



阿字ヶ浦中学校

「地域に残る貴重な自然の保護活動」継続して15年目に入った沢田湧水地の調査と保護。スカシユリの育成。また情報発信について発表しました。



「環境保全啓発ポスターコンクール」の表彰式



液体窒素にテニスボールを入れて…

平成29年度総会のお知らせ

日時：4月22日(土) 午前10時から

場所：ワークショップラザ勝田 大会議室(2階)

内容：平成28年度事業報告と会計決算報告
 平成29年度事業計画(案)と予算(案)

◎当日は、入会手続きも行っていきます。

に皆びつくりしていました。

お楽しみ抽選会では、折りたたみ自転車、ほし芋、花苗など多くの当選に笑顔と歓声がいっぱいでした。181名の参加者は、今年も感心したり考えさせられたり、充実した楽しい会でした。

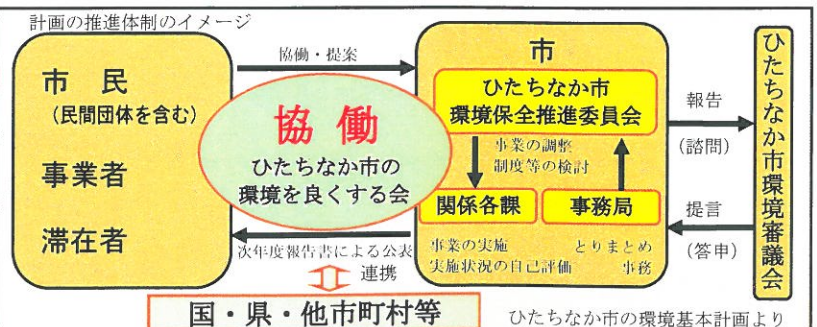
個人・団体・事業所会員 一緒に環境を考えませんか？

会員募集



環境を良くする会ブログ

入会手続きは、市環境保全課で行っています。(市役所第二分庁舎3階)



ひとちなか市の 環境を良くする会 環境活動紹介

本会では、ごみ問題、温暖化防止、自然環境の3分科会があり、それらの取組みや会員の活動状況を紹介いたします。

「温暖化防止分科会」では、節電・節水・節ガスなどで、いかに生活の工コ度を上げるかが課題です。本年度から新たに「チャレンジエコライフ」(二酸化炭素排出量や光熱費を見ながら省エネに挑戦して頂くモニター制度)を始めました。

1月に参加者が集まり、懇談会を開きましたが、少しの創意工夫で楽しく手軽にエコな生活ができることを紹介しました。来年度はぜひ皆さんも「チャレンジエコライフ」に参加して、エコの達人に!

エコライフ達人 現れる 次はあなたも!

「ごみ問題分科会」の大きな目標は資源循環型社会に即したごみの減量。それに向けて、昨年度から全国的にも普及が進んでいる、段ボールコンポストによる生ごみの堆肥化に取り組んでいます。

昨年の6月と11月には、生涯学習センターや那珂湊コミセンで、市民を対象に段ボールコンポスト講習会を開催。本会の斎藤保夫が講師を務め、



段ボールコンポスト講習会の様子

段ボールコンポストで 生ごみの減量化を目指す

合計60名の方が参加しました。参加者から「思っていたほど面倒

家庭でできる循環型社会 段ボール箱で生ごみ堆肥化 やってみませんか!

☆用意するもの

(1日に生ごみを500gの場合)

段ボール箱
ミカン箱位で
厚みのあるもの
基材



ピートモス 15 ㎏、
もみ殻くん炭 10 ㎏
(混合割合 3:2) と米ぬか少々
小さなスコップ

虫よけカバー(古いバスタオルや風呂敷などで十分です)

☆段ボールコンポストの組立て

- (1) 段ボール箱に基材を入れ、よくかき混ぜる。
- (2) 段ボールは、雨がつかからず、比較的温度が高い場所に設置し、箱の下にスノコなどを敷き通気性を良くします。

☆毎日の作業

- (1) 基材に穴を掘って生ごみを入れ、上に基材をかぶせます。前日に生ごみを入れた部分をスコップでよくかき混ぜて、空気を入れてやります。
- (2) 基本的に、貝殻以外の生ごみはOKですが、小さく刻んだ方が発酵しやすくなります。
- (3) コンポスト内に虫が発生する場合があります、その場合は熱湯をかけるなどの対策を取ります。



☆できた堆肥を使ってみましょう

約3か月投入後、投入を止め、1週間ほど毎日かき混ぜます。その後同量の土を混ぜ約1か月寝かせると堆肥になります。

◎ご不明な点は、斎藤保夫までご連絡下さい。Tel 029-273-9663

ではない」「生ごみを毎日入れても増えないのが不思議、感動、面白い」「かき混ぜるたびに愛着がわく」「生ごみがでないように工夫するようになった」「収集日に出すごみの量が減った」などの感想が寄せられました。

11名がこれに挑戦し、昨年11月に終了しました。その結果をプロの「うちエコ診断士」に診断して頂いたところ、2名の会員(2人家族)が、それぞれ同じ家族構成基準で100世帯中第1位でした。お二方の家庭での二酸化炭素年間排出量は約1,700kgでした。同じ2人家族の100世帯の方の平均値(約5,700kg)と比較していかに少ないかが分かります。

わがまちの環境活動

勝田環境株式会社

当社は平成28年11月に茨城県常陸大宮土木事務所より「道路里親」の認定を受けました。この制度は、茨城県が管理する道路を「里子」に沿道の企業やボランティア団体などを「里親」に例えて、道路の清掃(ごみ拾い)や除草を県に代わって行うものです。

市内高野の県道、市道合計0.73キロメートルの里親になりました。県道と市道が交差する場所にはドウダンツツシを14本植樹しました。以前から毎月行っている道路清掃に加え、今後はボランティア活動の一環としても茨城県からお預かりした「里子」を「里親」としてしっかり守り育てていくことが当社の使命であることを自覚し、社員一丸となって取り組んでいきます。



「道路里親」認定の看板
(市内高野地区)

竹の間伐活動 8年

参加者求む!

美田多地区の森林(市指定風致地区)の斜面が荒廃していたため、「自然環境分科会」では、平成21年から毎年10月〜翌年3月まで、月に1回(第3土曜日)保全活動として竹などの間伐を行っています。

毎回、会員でない方も合わせて、14、15名の方が参加して、9時半からお昼まで作業しま



す。今季の主な作業は、間伐した竹を運び出すための山道を、小場江用水沿いに切り開き整備することでした(上の写真)。作業の後は、会員が用意してくれた特製のカレーを美味しく食べて解散となります。

森林保全活動の普及

間伐した竹の一部は、竹ポックリや竹とんぼ、ぶんぶんゴマなど竹細工の材料として、また、炭焼きによる竹炭や竹酢液として活用を図っています。山道に沿って山積みされた竹の活用については今後の大きな課題です。

また、市指定風致地区331ヘクタールのうち私たちの活動実績面積は、2ヘクタール程度でわずかです。荒廃が進んだ市指定風致地区は膨大な「市の下水道普及率が低くて驚いた。下水道普及率の拡大が必要だ。」

那珂久慈浄化センターを見学

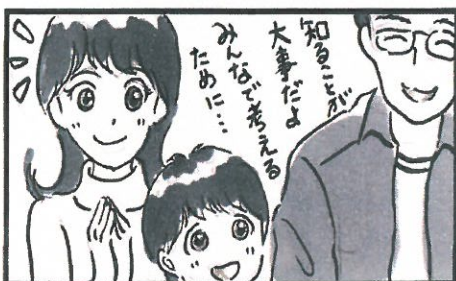
2月21日(火)の午前、市民と会員等24名が長砂町にある那珂久慈浄化センターを訪問し、下水処理過程と水質検査室を見学しました。参加者の感想です。



沈殿池を覗き込む参加者

「勉強になった。」「空気と微生物だけで水を浄化していることに驚いた。」

環境よもやま 4コマ



温暖化防止分科会では、1月21日(土)、ファッションクルーズで「温暖化防止キャンペーン」を実施。本会員ら16名が参加して節電や省エネの大切さを伝えました。



啓発グッズを手渡ししながら、省エネの大切さを伝える会員

「市の下水道普及率が低くて驚いた。下水道普及率の拡大が必要だ。」「環境のためにできることを自覚できました。きれいに流したい。」

市街の景観・美観をよくするをテーマに昭和通りを歩く

今年度3回目の環境ディスプレイは、1月14日(土)午後から、前回からのテーマ(市街の景観・美観をよくする)で、今回は市内を歩いて実情を見ることにしました。参加者が3班に分かれ、勝田駅から約4kmの昭和通りを、途中雪がちらつく中、ごみを拾いながら往復しました。その後、生涯学習センターで次のような報告がありました。

- ①歩道の植え込みや歩道脇の藪にごみが捨てられていた。
- ②バス停や駐車場の近く、空き地などでタバコの吸い殻を多く拾った。
- ③フェンスの錆が美観を損ねている。
- ④壊れた傘が数本落ちていた。
- ⑤ゴミ捨て禁止の表示板が見えにくい位置にあった。

「自立と協働のまちづくり基本条例って何?」など
話し合える「環境なんでもカフェ」始めます

「こんなひとちなか市だったらもったいないな...」を実現出来たらいいですね。たった一人では無理でも仲間と知恵を出し合い、行動し、行政と協働できたら実現できるかもしれません。

「ひとちなか市自立と協働のまちづくり基本条例」が制定された平成22年前後は、これからはこの条例をもとにテーマ型市民会議の提案などを通して市民が主役としてまちづくりに関わって行くのだという気運が高まっていったように思います。しかし実際には地域コミュニティを地域が運営することに着地した感があり、テーマ型市民会議は未開催です。本会が目指している、ひとちなか市の環境を良くすることも、まちづくりの一環として

第一回目は6月に開催予定

これまで開催していた環境ディスプレイを来年度からは「環境なんでもカフェ」として、お茶を飲みながら、気軽に環境(自然環境)だけでなく、生活、家庭などなんでもについて話し合える場にします。「まちづくり条例ってどんな内容なの?」もカフェのテーマに取り上げる予定です。

「食品包装材について」

容器包装リサイクル法って? (2)

容器包装廃棄物とは「商品の容器及び包装であって、当該商品が消費され、又は当該商品と分離された場合不要になるもの」をいいます。つまり、商品を包んでいる物であり、プラゴミ以外も含まれます。

このうち容器包装プラスチックの回収では、このマークの物を回収しています。



ところが、同じプラスチックなのに(時には全く同じ物でも使い方によって)容器包装材にならないものがあることは驚きです。

容器包装プラスチックではない物の例: 商品に添付されていたストロー、スプーン、ボールペンの軸、CDケース、有償のレジ袋(無償の場合は容器包装材)、クリーニングの袋、ダイレクトメールの袋など、これらのものが資源回収に出せないというのは大変難しい仕組みですし、見た目では区別できない物は資源回収に出していますよね。すべてのプラゴミが資源回収に出せるように法が改正されることを願います。

また、せっせと分けて出したプラゴミを燃やしている自治体があることにも衝撃を受けました。

少なくともプラゴミの回収によって、過剰包装の多さに気づき、減らそうという意識が芽生えたのではないのでしょうか。

編集者だよ

プ子賢沢して町の和菓子屋さんの桜餅に手を伸ばす。

桜の葉っぱの香りと食感、自然の美味しさを頬張り、控えめな甘さの餡、シットリとした餅、職人技に舌鼓を打ち季節を満喫する。

食材の安心安全を求めて東奔西走する友人の菓子職人の口癖『もったいない』は、本誌創刊号のキーワードだった。

本会は創立10年を迎える。取組んできた温暖化防止・ごみ問題・自然環境保全・情報の発信受信。できた事、続けている事、更にした事。

これからの10年も楽しんで感謝し Try!! Try!! Try!!

(若林)

ひとちなか市の環境を良くする会 事業所会員の紹介

<p>ひとちなか・東海 ハイトラスト株式会社 ひとちなか山崎光町103-2 TEL (029) 265-5371</p>	<p>化粧品・日用品・ アロマまで、石油系化学物質 を使わない、人と環境を守る 製品です。シナリー標本(株) TEL029-271-0766</p>	<p>Global Teamwork コマツ 茨城工場 〒311-0208 茨城県ひたちなか市高野193-44 http://www.komatsu.co.jp</p>	<p>ひたちなか馬渡店</p>	<p>株式会社ニチワ 私たちは販路を拡大し、 本物・高品質な『食』の提供を通じて、 人々の豊かな暮らしをお手伝いさせていただきます。 茨城県ひたちなか市和町3-13400-2</p>	<p>廃棄物からエネルギーへ</p> <p>私たちの使命は「環境を大切にする」こと 有限会社 株式会社 〒311-0208 茨城県ひたちなか市高野2-5-4 TEL029-272-2141 http://www.katsukon.com</p>
<p>私たちは、 美しい地球を次の世代へ!</p> <p>のスローガンのもとに、一丸となって 地球環境の経緯的改善と環境汚染 予防活動を推進しています。 株式会社製作所水戸事業所</p>	<p>リコーインダストリー(株) 勝田事業所</p> <p>インクジェットヘッド トナーインフラ ひとちなか市武田1060 www.industry.ricoh.co.jp</p>	<p>廃棄物の中間処理施設</p> <p>株式会社 カツタ ひたちなか市高野1968-2 TEL (029) 270-3711 http://www.eco-katsuta.com/</p>	<p>ガーデン・エクステリアのデザイン・施工・ Maki planning http://www.maki-planning.com/</p> <p>プロが選ぶガーデン職員の専門店 Mam's garden http://www.makiola.com/</p>	<p>Hitachi Koki</p> <p>日立電動工具</p>	<p>木質バイオマス発電所 (株) バイオパワー勝田 ひたちなか市高野 1974-1 TEL029-270-3341</p>